

2019年5月31日
公益財団法人イオン環境財団

いのちあふれる美しい地球を次代へ 第29回 環境活動助成先の公募を開始

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役）は、6月1日より、29回目となる環境活動助成先の公募を開始します。

当財団は「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと1990年に設立され、その翌年より毎年、環境助成活動を実施しています。

本助成活動は、いのちあふれる地球を次代へ引き継ぐため、持続可能な社会の実現を目指して世界各地で環境活動に積極的に取り組んでいる団体を対象に、活動費の一部を支援するものです。これまでの28年間でのべ2,948団体に総額約26億8,288円の助成を行っています。

なお、本年は助成公募説明会を全国5会場で実施予定です。

当財団は、かけがえのない豊かな自然環境を守るため、これからも環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

【第29回 イオン環境活動助成 公募概要】

- ・基本テーマ： 「人と自然が育むゆたかな森づくり」
- ・活動分野：
 1. 植樹
 2. 里地里山里海の保全、河川の浄化
 3. 自然環境教育
 4. 野生生物・絶滅危惧種の保護
- ・助成総額： 総額1億円
- ・対象団体： 持続可能な社会のための環境活動に積極的に取り組んでいる非営利活動団体
- ・活動対象期間： 2020年4月1日～2021年3月31日
- ・募集期間： 2019年6月1日～8月20日
※東京・名古屋・大阪・福岡・名取（宮城県）にて公募説明会を開催
詳細はホームページに掲載 <http://www.aeon.info/ef/>
- ・申請方法： ホームページからエントリー登録後、申請書を送付

以上

ご参考

【公募説明会】

全国5会場で公募説明会を開催します。

- ・東京会場 6月 5日(水) 11:30~12:30, 15:00~16:00
地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)
- ・名古屋会場 6月13日(木) 14:00~15:00
JICA中部なごや地球ひろば
- ・大阪会場 6月19日(水) 14:00~15:00
リファレンス大阪駅前第4ビル貸会議室
- ・福岡会場 6月25日(火) 15:00~16:00
イオンモール福岡内 2階イオンホール
- ・名取会場 7月 3日(水) 14:30~15:30
イオンモール名取内 3階イオンホール

※詳細はホームページに掲載 <http://www.aeon.info/ef/>

【公益財団法人イオン環境財団について】

当財団は「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、1990年に設立されました。設立以来、環境活動に取り組む団体への助成や、世界各地での植樹、生物多様性への取り組みを主な事業として、さまざまな活動を継続しています。イオンの植樹は、1991年のスタートから数え、当財団の植樹本数を合わせて累計1,193万本(2019年2月末時点)を超えています。

《公益財団法人イオン環境財団ホームページ：<http://www.aeon.info/ef/>》

■イオンの森づくり

行政と協力し、自然災害などで荒廃した森を再生させることを目的として、日本のみならずアジアを中心とした世界各地で植樹を行っています。2019年度は国内では、北海道南富良野、三重県松阪市、宮崎県綾町、千葉県九十九里、また海外では、武漢(中国) ジャカルタ(インドネシア)、ビドー(マレーシア)、ハノイ(ベトナム)において植樹活動を実施します。



武漢市植樹(中国)

■環境教育

【アジア学生交流環境フォーラム】

グローバルなステージで活躍する環境分野の人材育成を目的として、アジア各国の大学生が集い、各国の自然環境や価値観の違いを学びながら地球環境について国境を越えて討議をする、「アジア学生交流環境フォーラム（ASEP）」を実施しています。2018年度は、「熱帯雨林からの贈りもの」をテーマに、9ヶ国合計72名の学生が参加し、8月2日～5日の期間、マレーシアクアラルンプールで開催しました。



第7回ASEF開講式（マラヤ大学内）

■パートナーシップ

【生物多様性アワード】

国際連合環境計画 生物多様性条約事務局と連携し、生物多様性の保全と持続可能な利用の推進を目的として、「生物多様性みどり賞（国際賞）」と「生物多様性日本アワード（国内賞）」の2つのアワードを創設。隔年で開催し、顕著な環境保全活動が認められる個人・団体を顕彰しています。2017年度は第5回「生物多様性日本アワード（国内賞）」、2018年度は第5回「生物多様性みどり賞（国際賞）」を実施しました。



第5回「生物多様性みどり賞」授賞式

【日本ユネスコエコパークネットワークとの連携協定】

2017年8月7日に日本ユネスコエコパークネットワークと当財団は、“生態系の保全”と“持続可能な利活用”の調和を目指し、日本国内のユネスコエコパーク（生物圏保存地域）における3つの機能（保全機能、経済と社会の発展、学術的研究支援）に関し、国内初となる連携協定を締結しました。「生態系の保護・保全のみならず自然と人間社会の共生に重点を置く」というユネスコエコパークの理念に賛同し、日本国内の管理運営機関である日本ユネスコエコパークネットワークとの連携のもと、ユネスコエコパークのさらなる発展に向けて取り組んでいます。

【イオン未来の地球フォーラム】

東京大学、ならびにフューチャー・アースと連携し、地球の環境変化や環境問題について参加者とともに解決方法を考え、実行策を議論し、講演と対話型パネルディスカッションを通じて理解を深め、成果をまとめる「イオン未来の地球フォーラム」を開催しています。本年は2月2日に、東京大学安田講堂にて「第3回イオン未来の地球フォーラム」を実施しました。



第3回イオン未来の地球フォーラム（東京大学）